

令和4年10月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和4年10月21日（金）午後2時00分
(2) 閉 会 令和4年10月21日（金）午後3時40分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 教育委員の紹介について
第 3 会議録の承認について
第 4 会議の非公開の決定について
第 5 協議事項 8 令和4年度の三木市の学力・学習状況について
(案)
第 6 報告事項 各課（室）の所管事項について
第 7 その他
第 8 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	大 北	由 美
委 員	中 嶋	直 裕
委 員	梶	正 義
委 員	稲 見	秀 行

5 欠席者

委 員	石 井	ひろ美
-----	-----	-----

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	本 岡	忠 明
教 育 振 興 部 長	横 田	浩 一
教 育 総 務 課 長	森 田	眞 規
教 育 施 設 課 長	荒 田	知 宏
生 涯 学 習 課 長	河 端	康

図 書 館 長	伊 藤 真 紀
文化・スポーツ課長	金 井 善 純
学 校 教 育 課 長	田 中 智 美
教育センター所長	橋 本 泰 一
学 校 再 編 室 長	鍋 島 健 一
教育・保育課長	仲 谷 淳
教育総務課係長	三 觜 牧 恵

7 傍 聴 者 なし

開 会

教育長が、令和4年10月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、中嶋委員と梶委員を指名した。

日程第2 教育委員の紹介について

10月1日から三木市教育委員会委員に就任した稲見秀行氏が自己紹介を行い、続いて教育総務部、教育振興部の順で事務局職員が自己紹介を行った。

日程第3 会議録の承認について

教育長が、令和4年9月臨時会（11日開催）及び令和4年9月定例会（16日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第4 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、協議事項8「令和4年度の三木市の学力・学習状況について（案）」は、学校が保護者に通知す

る時期と合わせる必要がある案件であるため、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議することについて同意された。

日程第6 報告事項 各課（室）の所管事項について

（1）教育施設課報告事項

○荒田教育施設課長が次のように報告した。

広野小学校空調設備更新工事、緑が丘小学校トイレ洋式化改修工事、志染保育所トイレ改修工事及び緑が丘東小学校給食棟屋上防水改修工事は、完了した。

三木東中学校エレベーター設置等工事は、現在エレベーターの工事を実施している。

旧中吉川小学校工作物等撤去工事については、現在構造物の撤去を実施している。

緑が丘小学校土砂災害対策工事については、現在着工準備を進めている。

（中嶋委員）旧中吉川小学校工作物等撤去工事について、撤去後の校舎の活用を教えていただきたい。

（荒田教育施設課長）優先交渉権者が現在計画を立てているところである。年内には地元で説明会を開き、地元の承諾を得た上で契約し、その後校舎のリニューアル工事を来年春以降に実施すると聞いている。

（中嶋委員）緑が丘小学校土砂災害対策工事の契約金額はいくらなのか。

（荒田教育施設課長）契約金額は、12,419,000円である。工事内容としては、緑が丘小学校の法面の前にあるブロック塀を安定させるため、アンカーを打ち付けるものである。

（2）生涯学習課報告事項

○河端生涯学習課長が次のように報告した。

第40回緑が丘町文化祭を10月8日と9日の2日間実施した。雨天だったことと、飲食を行わなかったことから、来場者数は例年

より少なく、10月8日は300人、9日は800人であった。

第75回三木市成人式第2回実行委員会を実施した。令和2年度、3年度は、午前・午後の2部開催であったが、今年度は以前の1部開催で実施することを決定した。

自由が丘公民館、細川町公民館、青山公民館、吉川町公民館において、11月12日、13日に文化祭を実施予定である。

まちづくりの集い、区長研修会、ボランティアフェスタ協賛事業を11月20日に市民活動センターで実施予定である。

春夏秋冬と4回実施する予定である細川地域学校の3回目、秋の地域学校のチラシを手元に配布している。

(稲見委員) 今年度の成人式の参加見込み人数を教えてください。

(河端生涯学習課長) 例年600人から700人程度を想定している。

これは対象者数の7割5分程度の数である。対象者の減少に伴い、参加者も若干減ってきている。

(3) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

「県民だより10月号」掲載の「ヒョウゴなんでもランキング」において、吉川図書館が年間貸出数1位となった。また、3位に青山図書館、10位に中央図書館と、市内全館がランクインしており、三木市が「読書家の街」として紹介されていた。これからも、多くの人に図書館を利用していただけるよう工夫していく。

次に、ぬいぐるみのおとまりかいを10月8日、吉川図書館で開催した。図書館にお泊りしたぬいぐるみを迎えに来た子どもたちは、ぬいぐるみたちが図書館で楽しそうに過ごしている写真をプレゼントすると、写真の場所を探したり、ぬいぐるみが気に入っていた絵本を借りたりした。来年もあるかどうか聞く子どももいた。参加者は19人であった。

今後の予定事業について説明する。「絵本と音楽のライブツアー2022」は、10月16日に青山図書館で開催し、参加者は28人であった。次回は、11月19日に吉川図書館、11月20日に中央図書館で開催する予定である。この「絵本と音楽のライブツアー」は、今回がちょうど10回目に当たるため、2011年度の第

1回から読まれてきた35冊の中から選りすぐりの4冊を選んで、10回記念としてお届けする。今年はコロナ禍で3年ぶりになり、皆さん楽しみにされているようで、申し込みも既に満席に近い状況である。

第9回ビブリオバトルin三木及び古本無料交換会を11月3日に「図書館友の会三木」主催で中央図書館で開催する。

(4) 文化・スポーツ課報告事項

○金井文化・スポーツ課長が次のように報告した。

園田女子大学名誉教授及び県立兵庫津ミュージアムの名誉館長である田邊真人氏による特別講演会「歴史を活かした三木の街づくり」を9月25日にみき歴史資料館で実施した。参加者は72人で、内訳は、市内が47人、市外が25人であった。

堀光美術館では、10月1日から30日まで上田桑鳩展を開催している。その特別企画展の中で、10月9日に書道団体飛雲会会長である牛丸好一氏による講演会を実施した。参加者は80人で、市内が20人、市外が60人であった。

みなぎの書道展については、10月8日から16日まで展示し、10月16日に表彰式を2回に分けて実施した。来場者は、2,509人であった。

今後の予定としては、堀光美術館で10月1日から30日まで開催している特別企画展を前期として、11月5日から後期を実施予定である。

みき歴史資料館での企画展「地域の史料たち6～吉川の歴史～」を、10月22日から12月18日まで市史編さん室と共催で実施する予定である。

市民合唱祭を10月30日に、金物まつり協賛事業として文化連盟による作品展示及び芸能祭を11月5日、6日に実施する。

(大北教育長) みなぎの書道展の来場者数は、例年と比べて少なめなのか。

(金井文化・スポーツ課長) 昨年は約3,000人であり、数百人程度少なくなっている。展示についても、昨年の展示数が8,428点であったため、今年度は約600点少なくなっている。理由として

は、新型コロナウイルス感染症の影響で夏休みに制作できなかったと聞いている。展示数の減少に伴い、来場者数も減少したと分析している。

(大北教育長) 展示数の差と同程度の来場者数が減少しているのか。

(金井文化・スポーツ課長) その通りである。

(5) 学校教育課報告事項

○田中学校教育課長が次のように報告した。

修学旅行や自然学校、体育祭等の学校行事は、おおむね予定通りに実施できているが、三樹小学校のみ、新型コロナウイルス感染者数の増加により、10月5日から実施予定であった修学旅行を10月31日からに延期した。

第7回定例校園長会を10月3日に実施した。高等学校の発展的統合について、以下の内容を報告した。

今年3月に県教育委員会から「県立高等学校教育改革第三次実施計画」が発表され、三木市は三木北高校、三木東高校、吉川高校の3校が統合対象校となり、4校から2校に減少することになる。

三木市の高校は、4校ともクラス数がこの30年で大きく減少しており、この度の高校再編が、望ましい規模を確保するための発展的統合であることは明らかである。実施計画によると、令和7年度の入学者選抜から新しい統合校の募集が始まり、三木北、三木東、吉川高校の募集は停止となる。よって、現中学2・3年生の子ども達が高校2・3年生になっているが、1年生は入学してこないことになる。ただし、3校の内1校は新設校の校地となるため、統合前の高校の2・3年生と新設校の1年生が同じ校地に混在することになる。

令和8年度は、三木北、三木東、吉川高校で3年生になる生徒に1・2年生の後輩はいないが、新設校の校地に選ばれた学校には、新設校の1・2年生がいることになる。

今後のスケジュールについて、4回開催される「発展的統合に向けた検討委員会」が11月1日で終了する。その後、12月末までに基本計画の発表があり、新設校の教育活動の特色や想定設置場所

が知らされる。

来年には、「発展的統合校開設準備委員会」が県教育委員会によって設置されるが、詳細はまだ分からない。

この準備委員会が終了してから、正式な学校名、設置場所等が発表される予定である。

その他、校園長会では、来年度の教員確保に向けての取組として、現在、臨時講師等で勤務している職員の状況確認を依頼するとともに、県が進めているReStart支援講座やペーパーティーチャー支援講座を紹介した。

今後の予定については、引き続き、自然学校や修学旅行、体育的行事を実施する。また、中学2年生対象のトライやる・ウィークについては、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行前と同じ5日間で実施する予定である。

(稲見委員) 県教育委員会が行うことではあるが、新設校では、新設校の生徒と旧校の生徒がいるため、学校が大変である。なぜ一度にできないのかと感じた。

(田中学校教育課長) 三木市でも小学校や中学校が統合しており、なぜ一度にできないのか、県教育委員会に問合せをした。高校は選抜試験を合格して入学するという形をとる以上、段階的な統合になることであった。

(梶委員) それぞれで教育課程も異なるのではないか。

(田中学校教育課長) そのとおりで、新設校では、旧生徒と新設校の生徒では教育課程が異なる。ただし、学校行事などは合同でできるよう、来年度検討する予定である。

(6) 教育センター報告事項

○橋本教育センター所長が次のように報告した。

専門研修講座の「学校でSWAYを活用してみよう」については、本来8月に実施予定であったが、講師の都合により延期していたものである。SWAYは、ホームページを簡単に作成できる汎用性の広いソフトである。なんでもできてしまうため、注意が必要である

ことが分かった。

教育相談については、記載のとおりである。不登校対策適応教室事業については、9月末在籍者数が中学生男子3人と女子5人の8人である。2人から3人が毎日通級をしており、その他は通級に来たり学校に行ったりしている。その他小学生2人が体験通級を行っている。

青少年センターの事業について説明する。ネット見守り隊は毎月行っているが、大きな事案や気になる事案はなかった。

人の目の垣根隊の意見交換会を4校で行い、通学路の安全確保等について意見交換をした。

例大祭において、特別補導を実施した。3年ぶりの祭であったが、大きな事案は無く、安全に行事が開催されたと聞いている。

青少年健全育成ポスターについては、毎年夏休みに子どもたちが作成したポスターを審査し、優秀な作品についてはB2サイズのポスターを作成する。作成したポスターは、市内の学校や公共施設に配付し、1年間掲示する。

(梶委員) 教育相談のうち教育問題32件と青少年の悩み相談29件について、共通して考えなければならない課題や問題があるか教えていただきたい。

(橋本教育センター所長) 場面緘黙や、特に理由は分からないが学校へ行きにくい児童生徒がおり、教育相談や青少年悩み相談などで相談を受け、議論をしているものの、なかなか明確な解決策が見いだせていない。これから関係者等と相談しながら進めていきたいと感じている。

(7) 学校再編室報告事項

○鍋島学校再編室長が次のように報告した。

9月定例会で要望のあった東条学園の不登校児童生徒及び特別支援教育の取組について報告する。

不登校児童生徒については、東条学園の校舎が新設されていることから、不登校児童生徒等が外から入りやすいように保健室を配置したり、子どもたちから見えにくい出入口を設けたりするなど、施設上でもさまざまな工夫をしているということだった。

ソフト面の効果としては、小中学校の教員が、長い目で、また、多くの目で児童生徒の変化に気づくことができ、それが子どもや保護者に安心感を与えているとのことだった。ただ、これが直接成果となって現れるのはもう少し先ではないかということだった。

特別支援教育についても、校舎を建てる段階から特別支援教育に配慮がある。例えば、カーテン等で柔軟に教室を仕切れることやスイッチを複数取り付けること、教室内のレイアウトを変更しやすいことである。また、小学校と中学校の特別支援学級の教室を上下に配置することで移動の時に迷わないようにするなど、施設上の工夫もしっかりされているということだった。

指導面では、これまでは特別支援学級の子どもたちの指導計画を小学校で作成し、中学校にその指導計画を引き継ぐが、小中一貫校の場合は、9年間一体的に見守る指導体制を作り、複数の目で子どもたちを見守ることがしっかりできるということだった。

これらのことから、施設一体型の小中一貫校は、通常学級の子ども以上に特別支援教育の視点から非常に効果があるのではないかと感じている。

報告事項に入る。吉川中学校区の小中一貫教育合同研修会を9月28日に実施した。当初は吉川小学校と吉川中学校合同で運動会を開催したいとのことで案を練っていたが、保護者や地域の方への説明と理解を得るのにもう少し時間が必要と判断し、今年度は10月29日に吉川中学校のグラウンドで、午前に小学校の運動会、午後中学校の運動会を実施する。

第4回小中一貫教育推進協議会を10月19日に実施した。協議の大きなテーマは2つで、1つ目は集約する学校数についてであった。将来の学校数を決めつけてしまうと、数字のみが先行してしまうため、今のところは6校としても柔軟に学校数を修正していくこととし、検討していくための懸案事項の留意点を定めたら良いのではないかという意見が出された。留意点としては、①子どもの人口推移、②地域との繋がり、③モデル校をつくり、効果検証をしながら進むこと、④ICT化により、学校そのものの役割が変化することへの配慮の4点であった。

2つ目のテーマは、吉川地域の学校の在り方である。委員には、令和3年7月の総合教育会議で、「吉川地区に第1校目となる施設一体型の小中一貫校を建設し、モデル校とする。他の地区において

も学校が離れていても小中一貫教育を推進する。」という方向性で議論したことを伝えた。それをもとに委員に意見を求めたところ、特に異論はなかったが、吉川を進めていくにしても、留意点を念頭に進めていけないといけないという意見が出された。

留意点としては、①子どもが非常に減っているため、丁寧にだができるだけ早く着手する、②学校だけではなく、公共施設も取り込んで将来的に使えるような施設にしておくことが必要である、③人口推移を見ながら、市内から広く子どもたちが入ってこれるような特認校制度も考える、④まちづくりの中における学校という視点をもって、人口を増やすための施策なども含めてしっかりと話し合う、の4点であった。

今後の予定については、11月に先進校視察に行く。

(梶委員) 視察校を選ぶ時の観点や基準などがあれば教えていただきたい。

(鍋島学校再編室長) 初めは、施設一体型がどういうものか分からなかったため、近隣にある施設一体型の学校へ多く行った。最近では、吉川を見据えて、小さめの施設一体型小中一貫校や、施設が離れていても小中一貫教育にチャレンジしている学校を選定している。

(8) 教育・保育課報告事項

○仲谷教育・保育課長が次のように報告した。

令和5年度採用三木市職員採用試験について、一次試験を9月18日筆記、19日に実技・作文を実施する予定だったが、台風の影響により実技・作文を延期し、10月9日に実施した。

オンライン開催による給付費に関する説明会を各民間園を対象に10月15日に実施する予定であったが、10月7日までに国の説明資料、詳細が公表されなかったため、現在延期している。

今後の予定について、令和5年度アフタースクール及び令和5年度入園申込のうち2号・3号認定児を現在募集している。

令和5年度採用三木市職員採用試験の面接を10月23日に開催する。採用予定人数は3人である。

今年度4人の職員が定年退職を迎えるため、園長等の経験を繋いでいくことを目的として、主任以上を対象に次世代研修を今年度に

4回実施する。

日程第7 その他

○森田教育総務課長が次のように報告した。

9月定例会で中嶋委員からいただいた「令和3年度の点検・評価報告書の19ページの決算のうち、小学校、中学校、特別支援学校費の減少額、約4億5,000万円のすべてがタブレット端末配置完了によるものなのか、タブレット端末の減少額はいくらになるのか。」というご質問にお答えする。タブレット端末整備等における費用は、小学校費で約2億700万円、中学校費で約1億5,400万円、特別支援学校費で約300万円であり、合計額は3億6,400万円であるため、4億5,000万円のうち、3億6,400万円についてはタブレット端末配置完了による減少額となる。その他については、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策として、備品購入費及び消耗品費の購入について国の補助金があり、6,280万円を備品等の購入費に充てていた。

令和3年度については、国からの補助金の額が減少したため、2,400万円を新型コロナウイルス感染症の対応費用として計上したため、差額約4,000万円は消耗品費と備品で減少している。主なものについては以上となる。

日程第8 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催について諮り、令和4年11月14日午後2時から開催することを決定した。

(非公開)

日程第5 協議事項8 令和4年度の三木市の学力・学習状況について (案)

協議事項8は、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議したため、同規則第31条の規定により、内容については記載しない。

閉 会

教育長が、令和4年10月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。

【令和4年10月三木市教育委員会定例会会議録】

教育長

署名委員

署名委員

記録者